

## 日比谷花壇、「東北大菜の花プロジェクト」を支援 塩害圃場で栽培され、プリザーブドフラワー加工された菜の花を使った アレンジメントの販売に協力

～12月18日(水)からプリザーブドフラワーアレンジメント「なのはな」を日比谷花壇店頭で販売開始～

株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰、以下「日比谷花壇」)は、東日本大震災の津波で被災した農家の支援と塩害を受けた農地の修復を目指し、塩害に強い菜の花を被災圃場で栽培する「東北大菜の花プロジェクト」の趣旨に賛同し、塩害圃場で被災農家が育てた菜の花を加工してできたプリザーブドフラワーを使ったアレンジメント「なのはな」の販売に協力します。宮城県、秋田県、岩手県、山形県、福島県、新潟県内の日比谷花壇の店頭で、12月18日(水)から同アレンジメントを60個限定で販売します。

東北大菜の花プロジェクト協議会(会長 鹿野秀樹)は、菜の花本来の花卉としての価値を見出し、菜の花をプリザーブドフラワー加工し、その商品化を検討していくために、東北大学大学院農学研究科が中心となって活動する「東北大菜の花プロジェクト」によって2013年春、宮城県岩沼市の塩害圃場で被災農家が育てた復興菜の花を収穫し、約1,000本の菜の花のプリザーブドフラワー加工試験をおこないました。これによりできあがった菜の花のプリザーブドフラワーを使って、東日本大震災後、宮城県仙台市の岡田西町仮設団地に避難されている方々で結成された「岡田西町たんぽぽの会」が、プリザーブドフラワーのアレンジメント商品を製作しました。

「東北大菜の花プロジェクト」、同プロジェクトを応援する東北大菜の花プロジェクト協議会、東日本大震災によって仮設団地に避難している「岡田西町たんぽぽの会」の連携でできあがったプリザーブドフラワーのアレンジメント「なのはな」の販売支援を、日比谷花壇が行います。

東北大菜の花プロジェクト協議会は、今回販売するプリザーブドフラワーアレンジメント「なのはな」に関して、日比谷花壇の店頭で、販売スタッフやお客様の声などを聞きながら、菜の花のプリザーブドフラワー実用化へ向けて今後も活動を進めていき、日比谷花壇はその実用化へ向けて、アドバイス等の支援をおこなっていきます。



プリザーブドフラワーアレンジメント「なのはな」

\*「岡田西町たんぽぽの会」は、東日本大震災の被災地の仮設住宅居住者の支援と仮設団地でのコミュニティ支援を目的に、株式会社日比谷花壇、株式会社損害保険ジャパン、日本興亜損害保険株式会社が共同で実施するプロジェクト「MADE IN SENDAI プリザーブドフラワープロジェクト」によって結成されました。日比谷花壇が派遣した講師によるプリザーブドフラワーを使ったアレンジメントの製作研修を通じて習得した技術で、今年3～4月にもプリザーブドフラワーのアレンジメントを母の日向けギフト商品として製作しました。日比谷花壇は、「岡田西町たんぽぽの会」に、プリザーブドフラワーのアレンジメントに関する技術を活用できる機会を継続的に提供するとともに、同会が製作するアレンジメント商品の販売先拡大を支援しています。強い生命力を持ち、ビタミンカラーの花を咲かせるイメージから、「岡田西町たんぽぽの会」と名づけられました。

《プリザーブドフラワーアレンジメント「なのはな」販売概要》

商品名: プリザーブドフラワーアレンジメント「なのはな」

販売価格: 2,625 円 [税込]

製作: 岡田西町たんぽぽの会(宮城県仙台市)  
東北菜の花プロジェクト協議会

サイズ: 高さ約 12cm × 幅約 8cm

\* 4 色(ピンク、グリーン、イエロー、パープル)

\* プリザーブドフラワーアレンジメント『なのはな』は、東北菜の花プロジェクト協議会がプリザーブドフラワーとして加工した菜の花を使って、宮城県仙台市の「岡田西町たんぽぽの会」の皆さんが、製作したものです。

販売開始日: 12 月 18 日(水)

販売個数: 60 個

販売店舗: 宮城県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、新潟県の日比谷花壇の店頭

<宮城県> ヒビヤカダン ホテルメトロポリタン仙台店

ヒビヤカダン スタイル オオウチヤ店

ヒビヤカダン スタイル 仙台パルコ店

<岩手県> 日比谷花壇 盛岡フェザン店

<秋田県> 日比谷花壇 秋田ビューホテル店

ヒビヤカダン 秋田キャッスルホテル店

<山形県> 日比谷花壇 ホテルメトロポリタン山形店

<福島県> ヒビヤカダン スタイル 郡山ビューホテルアネックス店

日比谷花壇 ホテルハマツ店

<新潟県> ヒビヤカダン ANAクラウンプラザホテル新潟店

各店舗情報: <http://www.hibiyakadan.com/shop/>

◆プリザーブドフラワーとは

ドライフラワーや造花とは全く異なる新しい加工花です。生花のうちに色素を抜き、オーガニック染料を吸わせることで、色鮮やかな美しさとソフトな風合いを数年間にわたって保ちます。生花ではないため、水やりの必要はありません。直射日光、高温多湿を避けて飾って、楽しんでいただくことができます。

◆株式会社日比谷花壇について <http://www.hibiya.co.jp>

1872 年創業、1950 年に東京・日比谷公園店の出店後、株式会社日比谷花壇を設立。現在、宮城県仙台市を含め全国に約 180 店舗を展開。フラワーディスプレイ、フラワーギフトの企画・制作・販売、装花を伴うイベントのプロデュース等を行い、花と緑溢れるライフスタイルを提案しています。